

.....

.....

.....

1

## 10. 事例体験者の属性（回答者は当事者A）

|                        |                                                                                |
|------------------------|--------------------------------------------------------------------------------|
| ○当事者 A                 | 年齢[ 36 ]歳、 勤続年数[ 14 ]年、 現場経験年数[ 0 ] 年、 階級[ 消防士長 ]、<br>同様の活動 [ 頻繁 ]、 任務 [ 隊員 ]  |
| ○当事者 B                 | 年齢[ 52 ]歳、 勤続年数[ 33 ]年、 現場経験年数[ 33 ]年、 階級[ 消防司令補 ]、<br>同様の活動 [ 頻繁 ]、 任務 [ 車長 ] |
| ○当事者 C                 | 年齢[ 27 ]歳、 勤続年数[ 9 ]年、 現場経験年数[ 9 ]年、 階級[ 消防士 ]、<br>同様の活動 [ 頻繁 ]、 任務 [ 機関員 ]    |
| その他<br>(当事者が 4 人以上の場合) |                                                                                |

## 11. 事例発生経過。

|       | 誰(何)が | なにをした                 | その他・備考など |
|-------|-------|-----------------------|----------|
| 経過 1  | ABC   | 救急出場した (急病人)          |          |
| 経過 2  | C     | 救急車を道路左側へ寄せて停車        |          |
| 経過 3  | ABC   | 現場は、道路右側のため、道路を渡り現場へ  |          |
| 経過 4  | A     | 救命士である A は、急病人を応急処置   |          |
| 経過 5  | BC    | 急病人をストレッチャーへ収容        |          |
| 経過 6  | A     | 一旦道路を渡り、資器材を救急車へ戻す    |          |
| 経過 7  | A     | その後、直ぐに現場へ戻ろうと道路へ飛び出す |          |
| 経過 8  | A     | 通行中の車両と、接触しそうになる      |          |
| 経過 9  |       |                       |          |
| 経過 10 |       |                       |          |

【その事例発生時の状況について】

● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●

○事故の場合 : 事故が起きたのはどうしてだと思えるか？

ヒヤリハットの場合：ヒヤリハットで済んだのはどうしてだと思うか？

たまたま、事故にならなかった。

## ○心理・体調について

a. あせりを感じていた

|                                      |     |
|--------------------------------------|-----|
| ・早く、現場到着や、活動をしなければならぬという“あせり”を感じていた。 | はい  |
| ・被害拡大が消防活動を上回っており“あせり”を感じていた。        | いいえ |
| ・周辺の野次馬などにより“あせり”を感じていた。             | いいえ |

b. 注意力が欠如していた

|                                  |     |
|----------------------------------|-----|
| ・ 1つの事象に集中し、他の事象への注意力を欠いた。       | はい  |
| ・ 活動終息（鎮火等）や活動内容が些細だったため注意力を欠いた。 | いいえ |
| ・ 体調不良や疲れにより注意力を欠いた。             | いいえ |

c. 経験・知識が不足していた。

|                            |     |
|----------------------------|-----|
| ・活動内容が、自己の能力や技量を超えていた。     | いいえ |
| ・活動中に起こりうる危険について認知していなかった。 | はい  |
| ・活動に対する経験が不足していた。          | いいえ |

d. 心身の不調があった

|           |     |
|-----------|-----|
| ・体調が悪かった。 | いいえ |
| ・悩み事があった。 | いいえ |

○装備・資機材について

e. 資機材の故障・不具合があった。

|                      |     |
|----------------------|-----|
| ・装備・資機材自体に問題があった。    | いいえ |
| ・装備・資機材の使用 방법이誤っていた。 | いいえ |
| ・装備・資機材の対処能力を超えていた。  | いいえ |
| ・必要とする装備・資機材がなかった。   | いいえ |

○活動環境について

f. 障害物や自然環境（雨・濃煙）によって視界がさえぎられた。

|                                 |     |
|---------------------------------|-----|
| ・障害物（建物等）のため周囲の状況が見えなかった。       | いいえ |
| ・特異環境（煙、暗闇、降雨等）のため周囲の状況が見えなかった。 | いいえ |

g. 行動しにくい環境だった。

|                  |     |
|------------------|-----|
| ・狭隘な場所であった。      | いいえ |
| ・暑かった（寒かった）。     | いいえ |
| ・野次馬が多かった。       | いいえ |
| ・現場周辺の地理に不案内だった。 | いいえ |

h. 足場が悪かった。

|                  |     |
|------------------|-----|
| ・足元が躓いたり滑りやすかった。 | いいえ |
| ・足元の強度が不足していた。   | いいえ |

○指揮・管理について

i. 適切な指示が得られなかった（適切な指示を与えられなかった）。

|                                     |     |
|-------------------------------------|-----|
| ・活動指示が得られなかった。（無線が通じない等。）           | いいえ |
| ・指示内容に誤り・偏りがあった。                    | いいえ |
| ・指示内容が実施困難であった。（周辺環境に、隊員技量の把握に欠けた。） | いいえ |

k. 関係者間の情報伝達・役割分担が不十分だった。

|                |     |
|----------------|-----|
| ・隊員の連携が不十分だった。 | いいえ |
| ・隊員が不足していた。    | いいえ |

○その他

l. その他の理由があった。

|     |
|-----|
| いいえ |
|-----|

【事故発生後の取り組みについて】

.....

○注意力欠如、焦り等の対策について

○装備・資機材の対策について

○活動環境の対策について

○指揮・情報伝達の対策について

